

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	木津小学校校舎	階数	地上4F
建設地	京都府木津川市	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域・防火地域指定なし	平均居住人員	550 人
地域区分	G地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年4月 予定	評価の実施日	2021年11月16日
敷地面積	13,211 m ²	作成者	片岡 佐紀
建築面積	1,066 m ²	確認日	2021年11月17日
延床面積	4,137 m ²	確認者	岡村 慎也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 12.4%

③上記+②以外の 87%

④上記+ 87%

0 46 92 138 184 230 276 322 368 414 460 506 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 3.0**

Q1 室内環境 **Q1のスコア = 3.2**

Q2 サービス性能 **Q2のスコア = 3.0**

Q3 室外環境(敷地内) **Q3のスコア = 2.7**

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.4**

LR1 エネルギー **LR1のスコア = 4.0**

LR2 資源・マテリアル **LR2のスコア = 2.8**

LR3 敷地外環境 **LR3のスコア = 3.1**

3 設計上の配慮事項		
<p>総合 大型の開口部を多く配置し自然光を積極的に取り入れ明るく快適な空間となるよう配慮した。また、開口部を多く取りながらもLow-E複層ガラスを採用し断熱補強も行うことで温熱環境にも配慮した。</p>		
<p>Q1 室内環境 外部建具を複層ガラスとし建物の断熱性能を高め快適な室内環境を目指した。屋根・外壁の断熱化、庇の設置を行った。</p>	<p>Q2 サービス性能 各居室への経路は段差のない平面計画とし、身障者にとっても利用しやすい施設となるよう配慮した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) 家具に府内産木材を使用し環境に配慮した。</p>
<p>LR1 エネルギー 複層ガラスを採用し建物の熱負荷抑制に配慮した。LED照明器具を採用し、エネルギー消費量を抑制している。太陽光によるリサイクル可能な自然エネルギーの利用。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 科学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建材を使用している。</p>	<p>LR3 敷地外環境 階高を低くすることで周辺環境へ配慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される